

広報 やまぞえ

広報やまぞえ 平成26年(2014)4月発行
編集・発行 奈良県山添村
〒630-2344 山添村大字大西151番地
Tel0743-85-0041 Fax0743-85-0219
E-mail : fureai@vill.yamazoe.nara.jp
<http://www.vill.yamazoe.nara.jp/>

小さくても輝き 「いい村」づくり

Graph Yamazoe Apl 2014 vol.571

4

祝入学



もくじ

- 平成26年度予算について P2~5
- 議会だより・人事異動..... P6~12
- みんなの広場..... P13~15
入学式・入園式、人権を確かめあう日記念集会
交通安全県民運動、文化協会発表会ほか
- 今月の情報 ほか P16~20
国民健康保険税、介護保険料、長寿医療制度 ほか
- 生涯学習教室のお知らせほか..... P21~22

やまぞえ小学校入学式

4月9日、16名の子どもたちが入学式を迎えました。

新入生たちは名前を呼ばれて「はい!」、校長や来賓の方々のお祝いの言葉には「ありがとう。」と元気いっぱいに答えていました。

「安全で暮らしやすい村づくり」

山添村長 窪田 政倫

平成26年度の一般会計・特別会計予算が去る3月17日、第1回村議会定例会で可決いただき成立いたしました。本年度の予算内容について私の所信の一端を述べさせていただきます。

我が国の経済は「アベノミクス」により、「円高」「デフレ」からの脱却が図られつつあり、経済に明るい兆しが見えて来ておりますが、その効果は大都市圏など一部にとどまり、本村のような地方には程遠い感があります。

「地方の元気なくして日本の元気なし」、地域の実状に即した主体的な地域づくりに取り組み、活力ある村を実現していく必要があると考えます。さらに、真の分権型社会を確実なものとするために、安定的な自主財源の確保を図り財政基盤の強化が必要不可欠であります。

本年度予算編成に当たりましては、各課並びに教育委員会の事務事業の検証・評価を実施し、十分な協議を重ね、事業内容を精査のうえ優先順位等を勘案し、国の地方財政計画に基づき、新年度予算を編成いたしました。

予算概要は、一般会計27億2千8百万円と対前年度比5.5%の増であり、また6つの特別会計においては、14億2百49万円と対前年度比8.2%の増であります。

主な内容

●災害に強い村づくり

防災行政無線の老朽化に伴う機器等の整備、避難場所、一人暮らしの方や高齢者等への対応、備蓄品の更なる確保、高齢者等緊急通報装置の増強、保育園の耐震整備など

に取り組んで参ります。

また、奈良県消防広域化に伴い、消防団に関する業務が移管され、村では、消防団の組織、消防力等を低下させることなく、消防署と連携を図りながら、村民の生命・財産を守るため活動の充実を図って参りたいと考えます。

●生活のしやすい村づくり

交通弱者の交通手段の支援として、交通事業者とも調整しながら、コミュニティバス、福祉バスの運行、さらには過疎地有償運送の一層の充実を図るなど村民の交通手段の確保に向け引き続き取り組みを進めるとともに、上下水道の整備、道路網の整備についても引き続き取り組んで参ります。

本年度新たに、再生可能エネルギー利活用に対する助成制度を導入します。

また、斎場などの問題については村民のみならず共に話し合い、検討を重ねていきたいと考えています。

●教育、福祉と健康の村づくり

子育て支援、放課後児童クラブ、食育の推進、文化の継承、郷土に誇りを持つ教育を進め30人学級の取り組みを行います。

また、国際化社会と言われて久しく、小・中学校の英語教育充実を図るため、村単独でALT（注）を採用します。さらにはALTによる社会教育などの場で英会話に触れる機会を広げていくことも考えています。

また、山添中学校屋根改修に伴い太陽光発電システムの導入を行います。

福祉と健康においては、しゅうがい者福祉・老人福祉サービスの充実、少子化対策として

子育て事業、児童医療費への支援、保育園の運営充実、いきいき就学支援等を引き続き行います。

さらには各種予防接種、健診、医療相談、初期の医療対応、三診療所の運営充実等に取り組んで参ります。

●農林商工業の振興

農地環境整備、農地有効活用促進、農業基盤整備促進、中山間地域等直接支払、施業放置林整備、地籍調査、有害鳥獣被害対策、急傾斜地崩壊対策、道路改良など各事業に取り組んで参ります。

特に大和茶の振興に力を注いでいきます。その他、引き続き緊急雇用創出事業として村の環境整備等に努め、美しい村の保全を図って参ります。

●観光力アップ

観光スポットである神野山へのつつじ植栽をはじめ、地域の協力を得て賑わいのある地域づくりに向けた取り組みを積極的に進めて参ります。

また、「むらまつり」などのイベントの開催等を通じて、地域の活性化や村のPRを図って参ります。

以上、重点施策を申し上げましたが、本村にはまだまだ多くの課題があります。どんな課題にも正面から取り組み、小さくても輝き、みなさんと共に「いい村」づくりをめざし、議会と行政、そして村民のみなさんが一体となり、小さなことから一步一步進めて参ります。

今まで以上のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

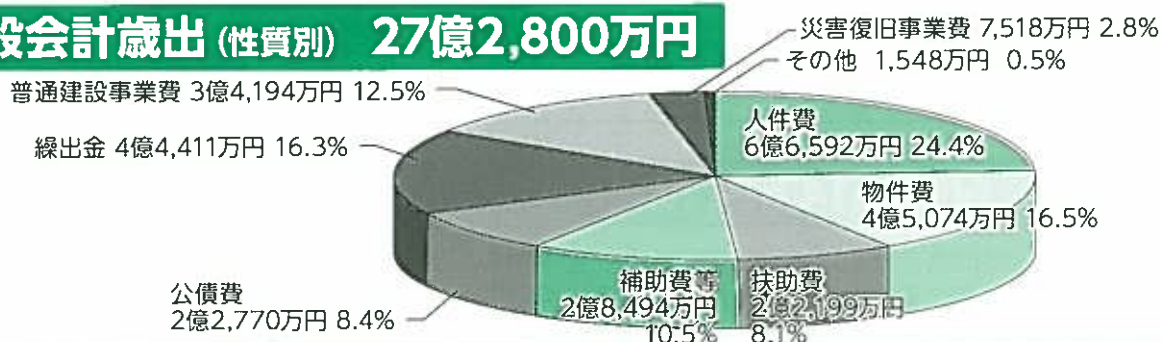
注 ALT (Assistant Language Teacher)

英語を母語とする外国語指導助手

平成26年度山添村一般会計・特別会計予算

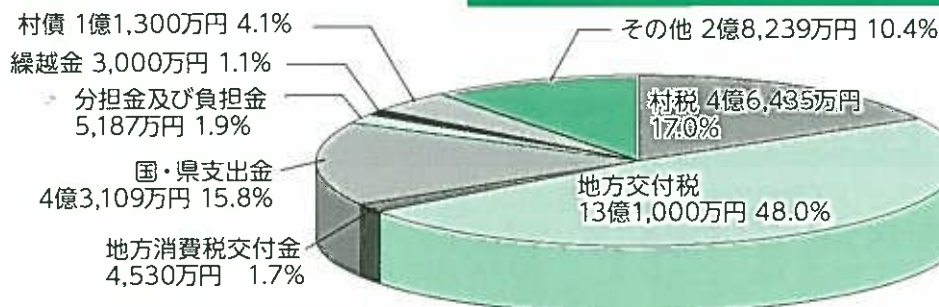
会 計	平成26年度	平成25年度	増減率 (%)
一般会計	27億2,800万円	25億8,500万円	5.5
特別会計			
国民健康保険	6億3,502万円	6億2,905万円	0.9
後期高齢者医療	4,890万円	4,618万円	5.9
簡易水道	1億4,874万円	1億6,018万円	△7.1
下水道事業	5,742万円	5,725万円	0.3
介護保険	4億7,219万円	3億6,465万円	29.5
基幹水利施設管理	4,022万円	3,935万円	2.2
各会計予算総額	41億3,049万円	38億8,166万円	6.4

一般会計歳出 (性質別) 27億2,800万円



- 人件費……………職員給与と議員報酬など。
- 物件費……………賃金や事務用品など消費的性質の経費など。
- 扶助費……………しょうがい者、児童などの医療費援助や各種手当、生活扶助費など。
- 補助費等……………負担金・補助金などの行政上の目的で村から支出される経費です。
- 公債費……………村が借り入れた地方債の元金・利子など。
- 繰出金……………一般会計と特別会計、または特別会計相互間で支出される経費です。
- 普通建設事業費……………公共施設などの新增設の建設事業に必要とされる投資的経費です。
- 災害復旧事業費……………大雨、暴風、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費です。

一般会計歳入 27億2,800万円



- 村 税……………村民の皆様になめていただく村民税や固定資産税などです。
- 分担金及び負担金……………村が行う特定の事業の財源として、その事業の受益者から徴収されるものです。
- 国・県支出金……………特定の事業の財源として、国や県から交付されるお金です。
- 村 債……………国や県、金融機関から借り入れたお金です。
- 地方消費税交付金……………地方消費税の中から交付されるお金です。
- 地方交付税……………所得税など国が徴収する税金の中から自治体の財政状況に応じて交付されるお金です。
- 繰越金……………前年度から繰り越されたお金です。
- その他……………国税として徴収した税の一部または全部を一定の基準に従って自団体に譲与する地方譲与税、ゴルフ場を利用する人から徴収するゴルフ場利用税、財産収入、寄付金などのお金です。

26年度予算が使われます

総務費 3億6,846万円 (13.5%)

- ◆村勢要覧作成 400万円
- ◆高齢化社会の進展に伴う交通手段の確保と、通学通勤の利便性を高める公共交通機関の充実に努めます。
 - 廃止路線バス代替運行委託、コミュニティバス運行費用に… 1,036万円
- ◆自然・歴史・文化などの地域資源を活用しての地域活性化をめざし、住民の皆さんの活動との連携を図りながら、協働による取り組みを展開します。
 - 村まつり、つつじ祭り、釣り大会、七夕イベント、フリーマーケットイベント開催事業に… 305万円



民生費 6億7,514万円 (24.8%)

- ◆すべての人が地域で安心して生活できる場を確保するため、福祉サービスを総合的に推進するとともに、生活環境等の充実に努めます。
 - 地域生活支援事業に… 2,430万円
 - 障害者福祉サービス介護等給付に… 1億4,828万円
 - 老人福祉事業に… 1,638万円
- ◆次世代育成支援行動計画に基づき、家庭や子育てに夢を持ち、次代を担う子どもを安心して育てることができ環境づくりに努めます。
 - 保育料第3子無料化、通常保育、延長保育、一時保育などに… 1億1,747万円
 - こども児医療費助成事業に… 340万円
 - 18歳までの医療費助成に… 290万円
 - 児童手当支給事業に… 4,668万円
 - 放課後児童クラブ運営事業に… 828万円



衛生費 3億2,955万円 (12.1%)

- ◆住民の皆さん一人ひとりが健康であることを基本に、「健康山添 21 計画」に基づく健康づくりの推進に取り組みます。
 - 各種予防接種委託に… 776 万円
 - 住民健診、がん検診に… 1,081 万円
 - 妊婦一般健診に… 198 万円
- ◆住民の皆さんの快適な暮らしの確保と、河川・農業用水の汚濁を防止し、自然環境や生活環境にやさしい循環型社会の構築をめざします。
 - 住宅用太陽光発電システム設置補助… 80 万円
 - 生ごみ減量対策助成に… 60 万円
 - 合併処理浄化槽設置整備助成に… 426 万円
 - 塵埃処理に… 3,522 万円



このような事業に、平成

災害復旧費 7,159万円 (2.6%)

公債費 2億2,770万円 (8.3%)

教育費 3億9,797万円 (14.6%)

予備費 100万円 (0.0%)

議会費 5,021万円 (1.8%)

◆通学の安全性・利便性を図り、児童・生徒が安心して学べる環境づくりをめざすことにより学校運営の充実を図ります。

- ALT活動に… 549万円
- 中学校屋根改修、太陽光パネル設置工事等に… 1億1,389万円
- 小・中・高等学校の維持管理費に… 5,645万円
- 布目ダムマラソン大会負担に… 140万円
- 小・中学校、高等学校対外試合補助に… 182万円

消防費 1億4,315万円 (5.3%)

◆住民の生命・財産を守り、また安心して暮らせるむらづくりに取り組みます。

- 消防管理運営関係費に… 1億4,315万円

土木費 1億7,905万円 (6.6%)

◆生活道路となる村道の維持補修・改良を推進するとともに、産業活動面を含め、住民はもちろん、本村を訪れるあらゆる人々の利便性の向上を図ります。

- 急傾斜地崩壊対策に… 180万円
- 片平・美濃波多線改良に… 5,000万円
- 村単独の道路維持修繕助成に… 1,000万円

**一般会計歳出(目的別)
27億2,800万円**

農林商工費 2億8,418万円 (10.4%)

◆農業者の高齢化・担い手不足などに対応し基盤や近代化施設の整備を進めるとともに、魅力ある地域づくりを進めるため、生活環境の向上と環境保全型農業の推進及び有害鳥獣対策などに努めます。

- 茶業振興事業に… 131万円
- 遊休農地解消のため農地環境整備事業に… 1,394万円
- 中山間直接支払事業に… 2,917万円
- 農業振興助成などに… 1,346万円
- 有害野性鳥獣等被害対策に… 620万円

◆森林の育成・管理を効率的に進めるための基盤整備や保育事業、若者等の担い手の確保と流域を単位とした広域的な産地体制づくりの推進などにより、安定的な林業の振興を図ります。

- 森林環境税による施業放置林整備事業に… 1,403万円
- 神野山植栽事業に… 300万円
- 村単独の造林事業補助に… 50万円



議会だより

◆平成26年第1回 議会定例会の結果

第1回定例会は、3月4日から17日までの14日間の会期で開きました。

条例の一部改正、平成25年度補正予算、平成26年度予算、意見書等31件が提出され、採決の結果、全件可決しました。

提出議案とその審議内容

議案の内容を要約して掲載します。

条 例

○山添村安全安心の村づくり基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について（全会一致で可決）

山添村が実施する防災のための施策に要する費用の財源を確保するため、平成26年度から10年間、個人村民税に5百円を加算し納めて頂き、積み立てるための条例が制定されました。詳しくは「広報5月号」に掲載されます。

○山添村消防基金条例の制定について（全会一致で可決）

山辺広域行政事務組合の解散に伴い、同組合で積み立てていた基金の

内、本村拠出金分が返還されることとなり、その全額を奈良県広域消防組合に係る運営費等の一部に充当するため、消防基金として積み立てるための条例が制定されました。

○山添村課設置条例の一部改正について（全会一致で可決。16頁参照）

○山添村防災会議条例の一部改正について（全会一致で可決）

山添村で設置している防災会議の委員について、奈良県広域消防組合の設立に伴い、委員の選出区分が変更されました。

○山添村国民健康保険条例の一部改正について（全会一致で可決。17頁参照）

（賛成討論） 奥谷和夫議員

平成26年度の国民健康保険税について、国民健康保険運用基金を取り崩し平成25年度と同額に据え置き、

また、資産割の比率を7%から3%に引き下げるなど、村民の負担軽減を図っていることから賛成する。ただ、国民健康保険の県広域化について、本村のように医療費が少なく収納率の高い市町村が不利にならないよう努力して頂きたい。

○山辺高等学校山添分校入学料等に関する条例の一部改正について（賛成多数で可決。19頁参照）

（反対討論） 奥谷和夫議員

民主党政権時代に世界人権条約に基づき高校までの授業料を無償化することで、初等・中等・高等教育の全ての段階の無償化が国際公約になった。しかし、昨年11月公立学校の授業料不徴収制度を廃止し、就学支援金制度に一本化され、また就学支援金には所得制限が設けられた。これにより、全ての高校において有償教育が前提となった。所得制限の導入は、教育を権利でなく支援の対象として扱うもので、理念的にも教育を受ける権利を、無償教育の実現によって保障していく世界の流れに

逆行するものであることから反対する。

（賛成討論） 永谷義博議員

法改正により、国家試験者養成課程に指定されている学校の生徒及び文部科学大臣の認定を受けている在外教育施設高等部の生徒も支援の対象となり、授業料不徴収の対象生徒の範囲が増えることになった。有償教育が前提となったと言われるものの、低所得者、中間所得者の子ども、高校進学、高等学校授業料の負担を軽減しようとするもので、経済的に裕福な世帯については応分の負担をして頂こうとするものであり、大半の世帯は無償化の恩恵を被るものである。決して現行から後退するものではないことから賛成する。

○山添村児童医療費助成条例の一部改正について（全会一致で可決。詳しくは「広報3月号」をご覧ください。）

○山添村下水道施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）

○山添村簡易水道給水条例の一部改正について（全会一致で可決）

平成26年4月1日から消費税が8%になることに伴い、これらの条例に規定されている料金について、

所要の改正が行われました。
※前記条例の一部改正2議案については、一括して審議。

○山添村国民健康保険診療所使用料及び手数料条例の一部改正について（全会一致で可決）

上位法等との整合性を図るため、所要の改正が行われました。

○カントリーパーク大川の設置及び管理に関する条例の一部改正について（全会一致で可決。19頁参照）

（賛成討論） 奥谷和夫議員

バーベキュー場の使用料が千円に上がることで利用者の負担が増えるが、現在の使用料5百円は、近隣の類似施設と比べても大きな開きがある。この引き上げは最小限のものであり、村の財政に寄与するものと考へ賛成する。

○山添村道路占用料に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）

○山添村法定外公共物管理条例の一部改正について（全会一致で可決）

○山添村準用河川管理条例の一部改正について（全会一致で可決）

上位法等の改正によるもので、所在区分の細分化及び現在の地価水準

を反映させることにより、占用料の適正化が図られました。

※前記条例の一部改正3議案については、一括して審議。

○山添村消防団員等公務災害補償条例の一部改正について（全会一致で可決）

○山添村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）

上位法の改正及び制定に伴うもので、消防団員の処遇改善のため、退職報償金支給額が一律5万円引き上げられました。

※前記条例の一部改正2議案については、一括して審議。

予算

○平成25年度山添村一般会計補正予算（第6号）について（全会一致で可決）

○平成25年度山添村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について（全会一致で可決）

○平成25年度山添村介護保険特別会計補正予算（第3号）について（全会一致で可決）

※前記補正予算3議案については、一括して審議。11頁参照。

○平成26年度山添村一般会計予算について（全会一致で可決）

○平成26年度山添村国民健康保険特別会計予算について（全会一致で可決）

○平成26年度山添村後期高齢者医療特別会計予算について（賛成多数で可決）

○平成26年度山添村簡易水道特別会計予算について（全会一致で可決）

○平成26年度山添村下水道事業特別会計予算について（全会一致で可決）

○平成26年度山添村介護保険特別会計予算について（全会一致で可決）

○平成26年度山添村大和高原北部地区基幹水利施設管理特別会計予算について（全会一致で可決）

※前記予算7議案については、一括して審議。3～5頁参照。

（賛成・反対討論） 奥谷和夫議員

平成26年度の国の予算は、消費税の増税により8兆円という大増税予算であり、年金や医療など国民の暮らしに関わる予算を下げ、大企業減税と大型公共事業のばらまきなど、大企業もてなし予算となっている。消費税の増税は、村や村民の暮らしにとってマイナスの影響があるのは明らかである。そんな中、本村の新年度予算は、防災対策の充実、コ

ミバスの運行、子ども医療費の無償化、また、放課後児童クラブの運営、再生エネルギー対策、緊急雇用の村単独事業、耐震化や教育設備の充実等、一般会計においては評価でき賛成する。ただ、電算管理費において、番号制度導入に伴うシステム改修が予定されているが、この制度は権力による個人情報集めであり、漏洩を心配する。国民健康保険特別会計においては、国税条例の改正の時にも言ったように賛成する。後期高齢者医療特別会計について、この制度は、高齢者を年齢で分け、保険料等を差別する制度であり、医療費が高騰すればそのまま保険料の引き上げにつながる仕組みとなっている。また、医療費は広域連合で決定されており、その議会は地方議員などの政党等の構成比率を反映しておらず、議案を承認するものとなっていることも問題である。本村の激変緩和措置もなくなり保険料が上がることも、住民にとっては更に痛手である。この制度は即刻廃止し、元の老人保険制度に戻すべきと考え反対する。

（賛成討論） 福井新成議員

平成26年度の一般会計及び各特別会計について、窪田村長誕生のもと初めて編成された予算である。選挙

公約に掲げられた内容を実行、実践するに当たり、限られた予算の中でメリハリのついたものになっている。最大の成果を上げ村民の付託に答えて頂くことをお願いし、賛成する。

一部事務組合

○山辺広域行政事務組合の解散に伴う財産処分の変更について（全会一致で可決）

○山辺広域行政事務組合の解散に伴う事務の承継の変更について（全会一致で可決）

本年3月31日をもって解散する山辺広域行政事務組合の解散後の財産処分及び事務の承継について、昨年7月1日付けで締結されましたが、内容に変更が生じたため協議書の一部変更がなされました。内容につきましては、先ず財産処分について、奈良県広域消防組合設立時期の遅延及び記載の変更、また、事務の承継にあつては、歳計現金の取扱等の変更であります。

※前記2議案については、一括して審議。

政 策

○山添村過疎地域自立促進計画の策定について（全会一致で可決。11頁

参照。）

決 議

○奈良県へのリニア中央新幹線中間駅設置の早期決定を求める決議について（議員提案 賛成多数で可決。11頁参照。）

（反対討論）

奥谷和夫議員

JR東海によってリニア中央新幹線の建設が進められようとしている。本当に国民は東京から大阪間の移動時間の短縮を望んでいるのか。国民的要求も経済的社会的要請も無い建設は進めるべきでない。また、ルートの大半は地下となることから、断層等により難工事が予想され、予算の範囲内で納まる保障はない。地震などからの安全を考えた場合、東海道新幹線の地震、津波対策こそが急がれるべきである。また、

意見書

○森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保を求める意見書について（議員提案。全会一致で可決。）

エネルギーにおいても、従来の新幹線より3倍の電力を必要とする。奈良県では中間駅が設置されることにより、まちづくりの起爆剤になると考えられているが、駅建設や周辺整備に多額の予算が必要となり、県民の暮らしを圧迫する恐れがあることから反対する。

（賛成討論）

福井新成議員

リニア中央新幹線の中間駅設置は奈良市付近と計画されている。本県

には空港も新幹線の駅もない3県の1つであり、中間駅の設置は大きな前進である。大和郡山市に中間駅が建設されれば、鉄道網はもとより紀伊半島地域へのアクセスにおいても適した立地条件である。設置されれば本県にとって大きな経済効果を生むことは誰しも否定しがたい事実である。リニアは幾度もテスト走行され安全な移動手段であり、また、トップ外交にも用いられるものと思う。奈良を国際都市に発展させるためにも中間駅設置は必要であると考える賛成する。

一般質問と答弁の要旨

質問と答弁を要約して掲載しています。

議員質問

○児童・生徒の育成支援、環境整備について

下川俊文議員

これからの山添村を担ってくれる児童・生徒の育って行く環境を整えるために、保護者への育成支援、児童や生徒の触れ合う場所の確保として児童公園の整備や設置について村の方向性について、次の3点をお伺いします。

1 子育てと仕事が両立できる村づくりについて（病児・病後児保育事業設立、延長保育に関して）

① 保護者の子育てと就労の両立

等は不可欠であり、また、頻発する自然災害等の脅威から国民の生命・財産を守るための森林・林業・山村対策を早急に推進しなければなりません。これらを担う市区町村の財源確保のため、特例措置による税収の一定割合を森林面積に応じて市区町村に譲与する制度の創設を求めるため、国に対し意見書を提出しました。

を支援するため、病气やその回復期で集団保育が困難な乳幼児を一時的に看護師等が緊急的な対応等を行う施設の確保や設立

② 延長保育の更なる時間の延長

2 中学・高校生の登下校の交通・交通費に関して

① 中学生のクラブにおいて早朝・放課後の送り迎えに関わっての保護者の負担軽減策

② 高校生の村外への登下校に関わる交通費の負担軽減

3 児童公園の整備や設置に関して 子供が安心して遊べる児童公園の整備や設置

村長答弁

病児、病後の保育事業につきまして、対応するとなれば保育士に限らず状況により看護師等の配置、児童の病状急変時の対応等の課題があり、また、需要頻度あるいは人材確保のコスト面での投資的效果を考えたとき、本村単独での体制整備は難しいと考えます。しかし、今後の動向も踏まえながら子育て支援対策の一環として近隣市との広域連携の中で考えていくことが望ましいと考えています。

次に、延長保育について、更なる時間延長をいうことであります

が、今のところ直接ご意見ご要望等は聞かされておられません。今の延長保育が十分とはいいませんが、保護者の就労の関係で迎えが遅れる場合は、臨機応変に対応しています。更に延長するとなれば、どれだけの延長が必要なのか、それに対する保育士の確保など、延長するにしても限界がありますので、保護者のニーズや社会情勢を考慮し必要に応じ検討したいと考えています。

これからも次代を担う児童の健全育成をめざし、保育、母子保健、子育て支援等々に関わっての事業を継続しつつ総合的に取り組んでいきます。

教育長答弁

中学校の部活動について、過去から大変熱心に取り組んで頂き、生徒の意欲と保護者の協力により輝かしい成績が築かれてきました。教育委員会といたしましては、部活動への支援や対外試合への支援を行い、保護者の負担軽減に努力してきました。早朝練習におきましてスクールバスを運行してほしいとのことですが、通常登校便とは別にバス運行を準備しなければならず、これには多額の費用が掛かります。家庭の負担は大きなものと捉えております。

すが、現在の対応でご理解頂きたいと存じます。

次に、高校生の村外への通学に関わる交通費の負担軽減であります。が、通学手段は様々であることから、支援の有効性と公平性を考えていかなければならず、どうあるべきかについて今後の研究課題とさせて頂きたいと思います。

最後に、児童公園について、楽しく安全に遊べる場所が必要と考えます。設置する公園数や場所、また安全管理などの検討課題が多々あります。村内の幼児、児童数は減少しておりますが、神社や寺、コミュニティ広場等を活用し、公園的要素を満たしていくことで、子どもたちが遊ぶ姿が見られるよう地域と共に知恵を出していくことが必要かと考えます。

議員質問

○介護保険制度の改定と本村の対応について

奥谷和夫議員

通常国会に介護保険制度の改定案の提出が予定されています。内容にあつては、介護と医療について大幅な負担増と給付減が盛り込まれています。介護では、要支援者向けの訪問、通所介護を市町村に丸投げし、

事業費には上限を設けボランティアに委ねるなど、費用の徹底削減の方向になっていきます。これでは、要支援者の重度化に拍車を掛けることとなります。また、利用料の引き上げや補助の縮小なども進めようとしています。そこで、次の3点について伺います。

①改定される内容に対しての村の考え

②本村で予想される影響

③村の対応

・要支援者が市町村事業に移管することになった場合の要支援者への対応

・特別養護老人ホームに入居できなくなる方への対応

・利用料が2割に引き上がる方への対策

村長答弁

まず、要支援者の対応につきまして、訪問介護及び通所介護サービスは、平成29年度末までに全ての市町村に移行することとされており、現在の利用者がサービスの提供を受けられなくなることはないと考えます。村としても利用者の状況を的確に把握しながら円滑な制度移行に努めるとともに、必要な財源が確保される制度改正になるよう期待しています。

ます。

次に、特別養護老人ホームに入居できなくなる方への対応について、今回の制度改正により入所要件から外れる対象者は5名程度と予想されますが、既に入所されている方が退所しなければならぬといった事態にはならないと考えています。昨今は、入所待機者が増加しているため、短期入所や訪問介護といったサービスの利用が多くなってきました。本村におきましては、在宅介護サービスの拡充に取り組むとともに、特別養護老人ホーム以外での生活が困難な方に対しましては、適切に関与しながら施設に対し入所の働きかけを行っていきたいと考えています。

最後に、利用料が2割に引き上がる方への対策について、改正案では年額280万円以上の所得者には2割負担をお願いするという方針が出されました。高齢化に伴い費用は更に増大し、保険料も上昇していくことが予想されますが、制度の持続可能性を高めるためにも可能な限り抑えていく必要があると考えています。また、高所得者に対し応分の負担をお願いする訳ですが、後期高齢者医療制度との不公平感を軽減する意味合いもあるのではないかと推察

するところであります。

この度の制度改正につきましては、地域包括ケアシステムの構築と介護保険制度の持続可能性の確保のため、充実と重点化・効率化を一体的に行うための内容となっております。本村においても国の方針に沿いながら円滑な制度移行に努めなければならないと考えています。

議員質問

○カントリーパーク大川のより一層の活用のための取り組みについて

大谷敏治議員

カントリーパーク大川について、整備されてから10年が経ちます。管理状況も良くなり、利用者が増えてきています。今後、より一層の集客を図り、今まで以上の活用を図るよう取り組まれる中、次の3点について必要であると考えますが、村長の考えをお伺いします。

1 公園へ通じる村道及び県道について、幅員が狭く対向も困難であるため、道路改良が必要と考えます。

2 夜間における駐車場の管理体制について、条例を守らない事例が見受けられますが、防犯カメラや防犯灯を設置するなど、犯罪等の防止対策を行う必要があると考え

ます。

3 施設を利用する外国人のマナーの悪さが指摘されています。対応策として、外国語の案内板の設置や外国人向けパンフレットの作成などを考えます。

村長答弁

カントリーパーク大川の管理につきましては、五月川流域観光開発協会に委託し、管理も良好であり、環境も良く利用客も増加傾向にあります。

先ず、道路整備ではありますが、県道につきましては、奈良土木事務所への道路改良要望を精力的に行っているところであり、これからも強く要望していきたいと考えています。また、村道にありましては、財政面を考慮しながら長期的に検討し、拡幅する方向で考えています。

次に、防犯対策について、施設内を明るくすることや、防犯カメラの設置は効果的であると考え、前向きに検討していきたいと考えています。また、天理警察にも定期的なパトロールを要請しているところで

最後に、マナーの悪い利用者への対応について、管理人の方々に徹底指導頂き、大変苦勞を掛けているの

が現状であります。案内や啓発の看板設置について、管理人の方々の意見を聞きながら、その費用を新年度予算に計上したところであります。外国人向けパンフレットの作成については、村全体を考慮しながら前向きに検討したいと考えています。議員をはじめ地元におかれましては、誘客や防犯活動に対してのご協力をお願いしたいと存じます。

◎議会のあゆみ

1月23日	全員協議会
2月21日	全員協議会
25日	正副議長並びに各委員長会議
3月4日	全員協議会
	第1回定例会開会
6日	文教厚生委員会
7日	文教厚生委員会
10日	総務委員会
13日	むらづくり特別委員会
17日	全員協議会
	第1回定例会閉会

補正予算の内容

(単位：千円)

○平成25年度山添村一般会計補正予算(第6号)

補正前の額	補正額	計
2,716,399	66,430	2,782,829

災害復旧業務の時間外勤務手当、退職手当特別負担金、新規就農者確保事業青年就農給付金、消防施設の整備等への基金積立金、小中学校の図書充実、東豊館のプール修繕等

○平成25年度山添村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

【事業勘定】

補正前の額	補正額	計
451,360	21,716	473,076

制度改正等による国保システム改修費、療養給付費及び一般保険者高額療養費、介護給付費、療養給付費負担金の確定による国庫金等への返還金、診療施設勘定への繰出金

【診療施設勘定】

補正前の額	補正額	計
177,690	—	177,690

繰入金の組替え

○平成25年度山添村介護保険特別会計補正予算(第3号)

【保険事業勘定】

補正前の額	補正額	計
413,167	1,575	414,742

介護報酬改定・区分支給限度基準額の見直しによる事務処理システム改修費

「山添村過疎地域自立促進計画」を策定しました。

平成22年4月1日「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律」が施行され、地域指定要件の拡充により、過疎地域指定を受けることとなりました。

社会の人口減少や高齢化が進むなか、全国的にも過疎地域において、集落機能の維持・存続が危ぶまれており、相互扶助機能の低下、身近な生活交通の不足、空き家の増加、森林の荒廃、耕作放棄地の増加などの課題が深刻化しているところだ。

本村においても、各集落の実態に即して、住民の安全・安心な暮らしを確保する事業の実施や生活環境の整備など、きめ細かな事業展開や活性化対策をこれまで以上に講じていかなければなりません。

こうしたことから、その対策をより具体化するため本計画を策定し、同法に基づく財政支援を受けて、その計画に沿った事業を実施することにより、地域の活性化と住民福祉の向上を図ろうとするものです。

※計画の内容等は、役場総務課又は、村ホームページでご覧いただけます

奈良県へのリニア中央新幹線中間駅設置の早期決定を求める決議

リニア中央新幹線は、平成23年5月に「奈良市付近」を主要な経過地として、整備計画が全国新幹線鉄道整備法に基づき決定された。

このことは、全国に空港も新幹線もない3県の1つであり、高速道路などの高速交通の国土軸から外れてきた奈良県にとって大変大きな前進である。

リニア中央新幹線の開通による交流人口の飛躍的な拡大を通じて、観光や産業・経済、県民生活等の様々な分野で大きな効果が期待できることから、県内の中間駅は、奈良県全体の発展につながる位置に設置されることが不可欠であり、そのためのグランドデザインを描いていくためには、駅位置の早期決定が重要な課題となる。

現在、事業主体であるJR東海は、東京・名古屋間の詳細なルートと駅位置を公表し、2027年の開業に向けた準備を着々と進められている。一方、京都市・京都府は、京都ルートへの変更の要望活動を活発化しており、一部の関西政財界にはこれに同調する動きもみられる。

このようなリニア中央新幹線をめぐる現状の中、我々山添村議会は、奈良県として一致結束して取り組み共に未来を切り拓くため、次の事項を決議する。

記

- 1 リニア中央新幹線がもたらす様々な効果を最大限に発揮するため、早期に東京・大阪間を全線同時開業すべきこと。また、そのための具体策を早急に検討し、方策を示すこと。
- 2 リニア中央新幹線のルートは、東日本大震災などの災害の教訓を踏まえ、現在の東海道新幹線とできる限り離し、法に基づき決定済みの整備計画通り三重・奈良ルートとし、日本の大動脈を二重化すべきこと。
- 3 中間駅の位置が早期に決定されるよう、県内の候補地を一本化すべきこと。中間駅は、リニア中央新幹線がもたらす効果を県南部を含む奈良県全体に、また紀伊半島地域にも広く波及させるため、鉄道網・道路網で各地と高い交通結節性を有し、県の人口重心にも近接した大和郡山市に設置すべきこと。

◆ 課長級

氏 名	新 任	前 任
小久保 守	住民課長	住民課参事
政 辺 範 泰	環境衛生課長	総務課参事(兼)財務会計室長
八十島 徳 昭	(兼)東山診療所長	

◆ 課長補佐級

氏 名	新 任	前 任
徳 谷 嘉 三	総務課長補佐(兼)人権啓発室長	教育委員会事務局長補佐
小久保 薫	診療所事務長	保健福祉課長補佐
今 窪 達 也	保健福祉課長補佐	診療所事務長
栢 本 貴美子	地域振興課長補佐	地域振興課
上 脇 力	教育委員会事務局長補佐	教育委員会事務局
奥 中 義 美	総務課長補佐(兼)財務会計室長	総務課(兼)財務会計室
中 西 利 昌	環境衛生課長補佐	地域振興課

◆ 一般職級

氏 名	新 任	前 任
乾 明 美	住民課	保健福祉課
棕 本 泰 明	教育委員会事務局	住民課
中 谷 順 也	地域振興課	社会福祉協議会(出向)
石 原 一 弘	環境衛生課	地域振興課
藤 本 泰 弘	総務課(兼)財務会計室	地域振興課
北 村 藍	環境衛生課	地域振興課
山 村 拓 也	環境衛生課	地域振興課
松 井 直 也	地域振興課	新採用
今 西 貴 哉	住民課	新採用
福 本 恵 子	保健福祉課	新採用
浦 西 珠 美	東山・豊原診療所	新採用

◆ 退 職 (3月31日付け)

竹本 喜典 (東山診療所長) 横山 法子 (地域振興課)

◆ 教職員

	転 入			転 出		
	職 名	氏 名	前任校	職 名	氏 名	前任校
やまぞえ小学校	校 長	中 西 正 司	櫛本小学校	校 長	松 本 一 樹	退職
	教 諭	高 倉 敦 史	丹波市小学校	教 諭	西 口 修 身	伊賀市
	教 諭	伊 藤 雄 大	新採用	教 諭	伊 藤 貴代志	前栽小学校
山添中学校	教 諭	原 智 子	天理西中学校	教 諭	藤 本 典 子	御杖中学校
	教 諭	長 良 啓 祐	大阪平野高等学校	講 師	前 知 里	退職
	教 諭	小野田 彩 乃	都南中学校			

退職 3月31日付け

**民生児童委員さんが
委嘱されました**

木口清也さん(片平)が3月5日付けで厚生労働大臣から委嘱されました。担当地区は広瀬・鶴山・片平・葛尾で、任期は平成28年11月30日までです。困った時などはお気軽にご相談ください。

祝 入学・入園

おめでとうございます

やまぞえ小学校

16名

山添中学校

22名

山辺高等学校山添分校

16名

すみれ保育園

8名

さくら保育園

7名

ひまわり保育園

9名

楽しい学園生活をおくつてくたさい。



4月8日 山添中学校

4月10日 山辺高等学校山添分校



すみれ保育園



保育園
4月11日

さくら保育園



ひまわり保育園



第26回 (平成26年度)

4・11「人権を確かめあう日」記念集会



4.11「人権を確かめあう日」一斉集会

明日香村人権教育推進協議会長上西義次さんを迎え行われました。

自殺、孤独死、無縁死、親の支援で生活する者、インターネットだけで繋がっている若者、ネット内呼びかけで見ず知らずの者が集まり殺人までしてしまう社会。

直接、他人と人間関係を築けない若者などや、無縁化せざるをえない人々、そして震災による福島県からの避難者への理由なき差別など、現代の日本人が抱える問題を多く提起され、人々とのつながりの必要性を強く訴えて講演を終えられました。

最後には「みんなであげよう、ねがい育て、くらしを高める 人権のまちづくり」人権「ひとごと」から「わがこと」へ」を合言葉に、取り組んでいくことを誓います。」と集会決議がされました。

毎月11日は

「人権を確かめあう日」です

5月12日(月)午前9時～11時30分まで、振興センターにおいて「行政相談・人権相談」を開設します。お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ 総務課 ☎85・0041



春の交通安全県民運動

4月6日から15日

奈良県では「交通事故のない、やすらぎの 大和路づくり」をスローガンに交通安全運動が行われました。

本村では、交通安全協会天理支部山添分会の方々が中心となって交通安全の街頭指導など精力的に活動されました。



「気を付けて運転してください。」
役場前街頭指導

4月13日、奈良交通自動車教習所で行われた「シルバー・ドライバーズ・スクール」に伏拝・助命の方々が参加し学科、実技に挑戦しました。講評では、「基本的な部分については、全員正解でした。また、実技では、障害物があると無理せずバック、切り返すするなど、経験の豊富



学科 「う～ん難しいな。」などの声も

さがうかがえます。更に長く車と付き合ってください。」とありました。



「はい、左右を確認して。」

「今回は、学科も実技も難度は過去最高でした。」

山添村文化協会発表会



山添コーラスのみなさん

4月12日、ふれあいホールで発表会が開かれました。
ステージでは、華やかに着飾った会員が舞、歌い、吟じられ、そして、大正琴や三味線の演奏、狂言、手話によるコーラスなどバラエティーに富んだ舞台が繰り広げられました。



展示会場

研修室では、俳句や書画、愛情込めて育てた盆栽、山野草などの展示が行われ、心を込めて点てたお茶のおもてなしをされていました。
来場者は、作品を鑑賞しながら和やかに歓談されていました。

桜まつり

4月6日、カントリーパーク大川で花見会が行われました。晴れ間があるかと思うと雨や雹（ひょう）が降るなど天候には恵まれない日でしたが家族や、仲間連れでキャンプ用テントなどをもちこみ満開の桜を楽しんでいました。



晴れ間には桜の木の元へ



ベトナムからいらっしゃったそうです。花見や、大川の吊橋を渡るなど楽しんでおられました。

三輪車レース

3月23日、フォレストパーク神野山「映山紅」の駐車場で三輪車（大人用）レースが行われました。エントリーした14名の選手で男女や年齢といったハンデキャップが一切なく行われ、予選、準決勝、決勝といずれも熱戦が繰り広げられました。



先頭争い！ スタート直後の第1コーナー

自転車の乗れる人はコーナリングが難しいのか三輪車ではかえって苦戦する人もいました。

今月の情報

INFORMATION

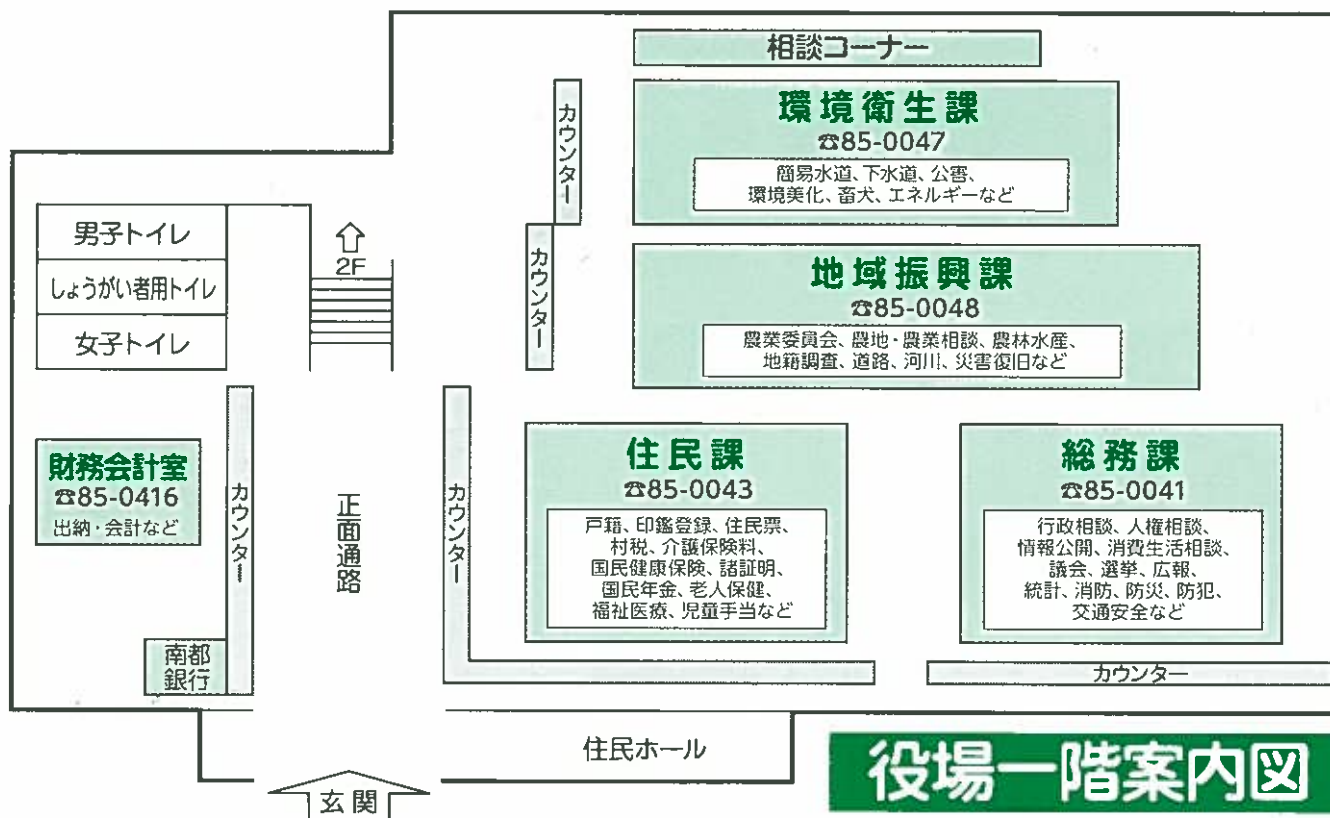
役場へのご用の節は、迅速・便利な直通ダイヤルをご利用ください。
市外局番 ☎0743

課の再編成に伴い 4月から役場庁内の配置が変わりました

住民の皆様に的確で迅速なサービスが提供できるように、本年4月から課の再編成を行いました。この再編成により、現在の地域振興課のうち、上下水道業務等の環境衛生部門を担当する「環境衛生課」を新たに設置しました。

なお、総務課、住民課、財務会計室、保健福祉課、教育委員会事務局、山辺衛生センターについては、従来と変更はありません。

この課の再編成に伴い、役場庁内の配置も下図のとおり変更し、より一層のサービス向上に努め、迅速な対応に心掛けますのでよろしくお願いいたします。



- ◆ **保健福祉課** ☎85-0045 0335 社会福祉、保健・予防事業、生活保護、介護保険、地域包括支援センター、保育園、診療所などに関すること
- ◆ **教育委員会事務局** ☎85-0049 学校教育、社会教育、社会体育、生涯学習、文化財、公民館などに関すること
- ◆ **山辺環境衛生組合 山辺衛生センター** ☎85-0253 浄化槽維持管理、し尿の汲み取り



平成26年度の国民健康保険税の税率が決まりました

平成26年度の国民健康保険税の税率及び課税限度額が決定しましたのでお知らせします。

国民健康保険税は、国民健康保険に加入している人に課税されます。年度途中に加入された場合はその月分から、脱退された場合はその前月分までの課税となります。

各世帯の年間保険税額は、下表の①所得割、②資産割、③均等割、④平等割の合計額となります。なお、40歳以上65歳未満（介護保険の第2号被保険者）の国民健康保険加入者は、医療分・支援金分と介護分を合わせて納めていただくことになります。

また前年度より資産割・介護分の平等割を減らし、所得割・均等割を増やした税率となっています。

※平成26年度国民健康保険税の通知は7月にお送りします。

※国民健康保険に加入する時や社会保険に加入された時は14日以内に届出をお願いします。

▼問い合わせ

住民課 ☎ 85・0044

	すべての加入者の方		40歳～65歳未満の方
	医療分	支援金分	介護分
① 所得割 (被保険者の所得額-33万円)に乘じる率	100分の4.3	100分の2.4	100分の2.5
② 資産割 被保険者の固定資産税額に乘じる率	100分の8.9	100分の4.6	100分の6.3
③ 均等割 被保険者1人あたりの年額	17,500円	8,800円	14,600円
④ 平等割 1世帯あたりの年額	14,400円	7,200円	2,200円
課税限度額	51万円	16万円	14万円

※地方税法の改正により、平成26年度から課税限度額が支援金分14万円から16万円に、介護分12万円から14万円に上がります。

保険税の軽減措置

○同じ世帯の国保被保険者が後期高齢者医療制度に移行することにより、国保被保険者が1人の世帯になる人（特定世帯）は、対象となつてから5年間は保険税の平等割額が2分の1軽減、その後3年間は4分の1軽減されます。

○会社の倒産や解雇、雇用期間満了など非自発的に失業した65歳未満の人（非自発的失業者）の保険税は、離職日の翌日から翌年度末までの間、前年所得の給与所得を30%として算定します。詳しくは、住民課までお問い合わせください。

健康診を受けましょう

健康診の日程等の詳しい内容については、4月下旬～5月初旬に各大字の保健推進委員さんから配布予定の案内をご覧ください。

平成26年度65歳以上の方の介護保険料

介護保険は、介護が必要になっても安心して自立した生活を送れるように、社会全体で支えていくという制度で、40歳以上の方に納めていただく保険料と公費（税金）を財源に市町村が運営しています。

65歳以上の方の介護保険料は、要介護者の人数や介護サービスに要する費用の見込みなどをもとに市町村ごとに定められています。本村の保険料基準月額額は3,100円（年額37,200円）です。

保険料は基準額をもとに、所得に応じて段階が決定されます。

特別徴収（年金から天引き）の方の調整について

4月、6月、8月の保険料特別徴収額は、確定した保険料での徴収ができないため、仮徴収となります。

10月、12月、2月は確定した年額保険料から仮徴収分を除いた額を3回に分けて徴収します。

普通徴収（納付書、口座振替）の方は8月、10月、1月の納付となりますが、65歳になられた月により2月、3月、4月に随時納付をいただく場合もあります。

長寿医療制度(後期高齢者医療制度)からのお知らせ

○平成26年度の保険料率は次のとおりです。

山添村にお住まいの方は、昨年度まで1人当たりの老人医療費が一定以上低かったことから安い保険料率となっていました。本年度から奈良県下統一の保険料率となります。

保険料は被保険者全員が等しく負担する「均等割額」と所得に応じて負担する「所得割額」からなり、その合計が保険料となっています。

$$\begin{array}{lcl} \text{均等割額} & \text{所得割額} & \\ 44,700\text{円} + (\text{総所得金額等} - 330,000\text{円}) \times 8.57\% & = & \text{保険料(年額)} \\ & & (\text{限度額} 570,000\text{円}) \end{array}$$

後期高齢者医療制度は皆さんの保険料のほか、現役世代からの支援金と国や県市町村が負担する公費によって運営されています。医療機関の上手な受診と毎日の健康づくりで医療保険制度をみんなで支え合いましょう。

★保険料には次のような軽減措置があります。

・制度に加入する直前に社会保険の被扶養者であった方

所得割額がかからず、特例として均等割額が9割軽減されます。

・所得の少ない世帯に属する被保険者について軽減措置があります。

(所得の申告がないと軽減措置を受けることができませんので、まだ申告をされていない方は申告してください。)

・所得の低い方

均等割額の軽減

世帯主と世帯の被保険者の所得の合計に応じて、均等割額が軽減されます。

被保険者+世帯主の総所得金額	軽減割合
33万円以下(その他各種所得がない場合で被保険者全員の年金収入がそれぞれ80万円以下の世帯)	9割軽減
33万円以下(上記以外の世帯)	8.5割軽減
33万円+(24万5千円×世帯の被保険者の数)以下	5割軽減
33万円+(45万円×世帯の被保険者の数)以下	2割軽減

所得割額の軽減

被保険者の所得に応じて、所得割額が軽減されます。

所得の合計	軽減割合
基礎控除後の総所得金額等が58万円以下	5割軽減

○保険料の納付方法について

保険料については、4月、6月、8月に支給される年金から仮徴収(平成24年中所得に基づいて計算)として保険料を天引(特別徴収)させていただきます。平成25年中所得が確定しましたら再度保険料額を計算し、残りの保険料額を本賦課として10月、12月、2月に支給される年金から天引き(特別徴収)させていただきます。

新たに被保険者となられた方の保険料につきましては、年金から天引き(特別徴収)の手續に概ね半年ほどかかります。その間納付書(普通徴収)により納めていただくことになります。

○保険料の納付方法を年金天引きから口座振替に変更することが出来ます。ご希望の方は住民課まで申し出てください。申請後変更には2〜3ヶ月かかります。また、社会保険料控除は振替口座の名義人に限られます。

▶ 問い合わせ 住民課 ☎85-0043

教育委員会から

お知らせ

就学援助制度について

経済的な理由から就学が困難と認められる児童・生徒の保護者へ援助を行う制度があります。学用品費・通学用品費など国で定められた基準により支給されます。支給にあたっては、所得による制限があります。詳しくは、各学校または教育委員会事務局へお問い合わせください。

高等学校等就学支援制度が

始まります！

平成26年4月から高等学校等へ入学する生徒の授業料については、従前の「無償化」から「有償化」になります。但し、「市町村民税所得割が30万4,200円未満（所得に換算すると約910万円以下）」となる世帯の生徒に対して、高等学校等就学支援金が支給され、従前と同様に授業料は無償となります（手続きが必要）。なお、平成26年3月以前から在学している生徒は、所得によらず授業料は無料です。詳しくは、在学する学校へお問い合わせをお願いします。

▼問い合わせ 教育委員会事務局

☎ 85・0049

山添村住宅用太陽光発電システム設置補助金制度

地球温暖化を防ぐことを目的とし

て、本村では住宅用太陽光発電システム（太陽電池モジュールの最大出力10kW未満）を設置した方に、その費用の一部を補助します。

対象者

山添村に住所があり、かつ村内の住宅に太陽光発電システムを設置した方。

補助金額

1件当たり80,000円

交付申請の受付

平成26年4月1日（火）

～平成27年3月31日（火）

※店舗等商業施設を兼ねた住宅や共同住宅は対象外です。

※県補助制度との併用が出来ます。



▶問い合わせ
環境衛生課
☎ 85-0047

カントリーパーク大川から

利用料改定のお知らせ

平成26年4月1日よりバーベキュー場の利用料が1基1000円となりました。

フリーマーケット

やまぞえ市場

▼とき 5月25日（日）

午前10時～午後3時（雨天中止）

▼ところ 山添村花香房駐車場

（名阪国道山添IC降りてすぐ）

▼出店者募集

・1ブース 1,000円

（間口約2.5m×奥行約2m）

・1人2ブースまで

・4月21日（月）午前9時～25日（金）

午後5時まで山添村商工会へ

ファックスにてお申し込みください。

（受付はファックスのみです）

※出店には限りがありますので、申し込みの先着順とさせていただきます。



▶申し込み・問い合わせ 山添村商工会
☎ 85-0033 FAX 85-0035

奈良弁護士会から

お知らせ

○「憲法週間」記念無料法律相談

法律に関する相談会（お一人30分程度）を行います。

相談を希望される方は、予約が必要ですので5月2日までに電話で連絡ください。

（先着順、定員になり次第終了）

▼日時 5月14日（水）

午前9時30分～正午

午後1時～3時30分

▼会場

□奈良弁護士会館

奈良市中筋町22番地の1

□経済会館

大和高田市中大106・2

▼予約受付（土、日、祝を除く）

奈良弁護士会

☎ 0742・22・2035

○子ども悩みごと110番

「いじめ」、「暴力」、「非行」などの様々な子どもの悩みについて、弁護士が相談をお聞きします。子どもはもちろん、子どもに関する悩みをもつ保護者や関係者の方からも相談をお受けします。お気軽に電話ください。

▼日時 5月10日（水）

午前10時から午後4時

☎ 0742・23・5166

優良運転者表彰 申請のお知らせ

交通安全協会天理支部では、優良運転者等を選考し、秋の交通安全県民運動期間中に表彰します。
次の条件に該当される方は申請できます。

▼対象となる方

①支部表彰

自動車（原付を含む）を運転し、6年以上無事故無違反であること。

②ベストドライバー顕彰

上級顕彰授賞後、一年以上経過していること。

顕彰の申請日を基準として、過去10年以上の間継続して無事故無違反であること。

運転免許の効力の停止処分を受けたことがないこと。

③緑十字銅章及び近畿交通安全賞章の申請もできます。

▼申請手続き

所定の申請書（支部窓口にあります）に記入して、申請日の1ヶ月以内に安全運転センター発行の無事故無違反証明書を添えて支部へ申請してください。

▼受付期間

5月7日～30日までの平日
午前8時30分～11時
午後1時～4時

▼問い合わせ

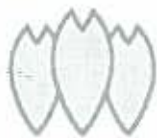
交通安全協会天理支部（天理警察署内）
☎0743（62）0110

奈良しごとiセンター・ならジョブカフェからお知らせ

奈良で働きたい"地元で活躍したい"そんなあなたをお待ちしています。
時間、講座内容、申込み方法等詳しくは奈良しごとiセンター・ならジョブカフェまでお問い合わせください。

講 座 等	月 日	場 所
就活セミナー	仕事の探し方 5月 1日(木)	ならジョブカフェ
	実践に役立つ!面接トレーニング～集団面接～ 5月14日(木)	
	グループディスカッション 5月22日(木)	
2日間集中面接対策+個別フォロー ～ビデオで自分の面接をチェック～	5月7日(水)・8日(木) 個別フォローは、5月9日(金)以降	ならジョブカフェ
県無料職業紹介所求職登録・求人登録	まずはお電話を(平日9:00～17:00)	奈良しごとiセンター(☎0742-23-5729)
月曜アサイチ ビデオde面接チェック!	毎週月曜日(祝・休日除く)	ならジョブカフェ
奈良で働きたい方を「ジョブならネット」が応援!	ネット上で登録を	https://www.job-nara.pref.nara.jp/

問い合わせ 奈良しごとiセンター・ならジョブカフェ 奈良市西木辻町 93-6 エルトピア奈良内
☎0742-23-5730 FAX 0742-23-5757



平和を仕事にする。 陸海空自衛官募集

※受験資格、受験日及び入隊時期は、下記にてご確認をお願いします。
自衛隊天理募集案内所
☎0743-63-2540
ホームページ: <http://www.mod.go.jp/pco/nara>
e-mail: hq1-nara@pco.mod.go.jp



生涯学習教室 5月

日(曜日)	学習メニュー	時 間	対象者	主催(申込先)	開催場所	備 考
11(日)	子ども何でも体験 No.2 スフレパンケーキ	13:30~16:30	小学3年生~ 中学3年生	東山公民館	豊原公民館料理実習室	材料費 300円
11(日)	楽しく描こう	13:30~16:00	どなたでも	波多野公民館	波多野公民館研修室	持参品 画題、鉛筆・消しゴム等
18(日)	美肌レッスン ・紫外線予防とお手入れ ・メイクのしかた	13:30~16:00	一般成人	波多野公民館	波多野公民館研修室	詳しくは新聞折込チラシで
25(日)	手作り教室 手編み 小物作り	13:30~16:00	どなたでも	波多野公民館	波多野公民館研修室	材料費 500円
29(木)	貼り付けるだけで ステンドグラスみたい!! グラスアートにトライ	13:30~16:00	一般成人	東山公民館	東山公民館大会議室	材料費 1,500円

教育委員会 ☎85-0049 / 歴史民俗資料館・波多野公民館 ☎85-0250 / 東山公民館 ☎86-0001 / 豊原公民館 ☎87-0001

てんいち先生



参加者募集! 山添伝統文化こども教室

山添伝統文化こども教室では、下記の教室を開催し、幼児から高校生まで多くの皆さんの参加をお待ちしております。詳しくは4月15日の新聞折込をご覧ください。



教室名	開催日時	場 所	連絡先
わらべうた教室	第3水曜日 2時20分~3時20分	児童館	児童館 85-0579
ふるさと民話教室	第3水曜日 3時30分~4時30分	児童館	児童館 85-0579
御殿万歳子ども 教室	月2回 (連絡先に問い合わせ)	伏拝公民館	教育委員会事務局 85-0049
お茶芽コーラス	第1・3日曜日 10時30分~12時	ふれあいホール リハーサル室	教育委員会事務局 85-0049

▶問い合わせ

山添伝統文化こども教室推進委員会(村教育委員会事務局内)
☎ 85-0049 FAX 85-0472

山添俳句教室

三月句会より

新子 満州男 選

山寺のなぞへ畑の梅ま白
春めくと言へど寒さの残りけり
盆梅展幾百年を耐へ来しぞ
菜の花の咲きて賑ふ司馬旧居
霞晴れ遠くの在所近く見ゆ
紅白の幟はためく梅まつり
大鳥居越しの三山霞みけり
伊賀大和連なる峰の霞みけり
誇らかに鈴振る翁国栖の奏
顕彰の詩碑を起点に梅探る

東 和子
松岡 多都
今西貞佐男
太田 新子
太田 守
奥谷 美代
田畑 茂代
中西栄子
西岡たか代
馬場 路哉

山添川柳教室

三月句会より

福井 靖訓 選

粉な雪と火の粉の祈りお水取り
三寒四温体調やはり狂い出す
花の香り春を知らせに風に乘る
柳会の自分の心あぶり出す
世の中は相性合えば事足りる
棠立行く嬉しい涙は春の華
ライト浴びいつもと違う夜の塔
年ですと医者に言われて一安心
脇役で通した母の割烹着
春を踏むいのちの坂をまた越える
飾らない暮らしへ寄ってくる笑顔

西久保正義
福森 桂子
松岡きみよ
茶谷 博喜
西岡 琇一
飯田 翠子
安井 英華
東 寛
古川 洋子
井久保和子
福井 靖訓

奈良県立自然公園

フォレストパーク神野山 つつじまつり

5月3日(祝) 4日(日) 両日とも午前10時～午後3時



爽やかに若葉薫る映山紅を主会場に神野山一帯でまつりを開催します

屋台出店 (両日とも、日によって内容は異なります)

スタンプラリー (両日とも先着100名)

特設ステージ 山添中学校のプラスバンド演奏・太鼓と踊りの競演・狂言・マジックショー (3日)
軽音楽など (4日)

お茶室でのお茶会 (3日)

金魚すくい (4日)

▶問い合わせ 神野山観光協会 ☎0743-87-0287

布目湖畔サイクルフェスタ2014

第23回布目湖畔サイクルフェスタ2014が行われます。上津ダム湖畔や布目湖畔一帯を家族で走るファミリーコースのサイクルイベントもありますので、みなさんぜひ、ご参加ください。

詳しくは「奈良県サイクリング協会」のホームページからご覧いただけます。

なお、参加いただける方は協会ホームページからお申込みください。インターネットがご利用できない方は、協会もしくは教育委員会へお問い合わせください。

▶と き 5月18日(日) [雨天決行]
ファミリーコース受付
布目ダム東側広場
午前8時15分～9時20分

▶問い合わせ

- ・奈良県サイクリング協会
☎090-3723-4495 FAX (専用) 0742-23-3249
e-mail y-momo@kcn.ne.jp
- ・山添村教育委員会事務局
☎0743-85-0049 (直通)
e-mail kyoikuiinkai@vill.yamazoe.nara.jp



編集後記

制服
広報担当として、何度も園児や児童達と接してきましたが、小学校の制服・中学校の制服で入学式に臨んだ子どもたちの姿は急に凛々しくなったような気がして嬉しくなりました。



むらのうごき

平成26年4月1日現在 ()は前月比

◇人 □ 3,958人 (ー11)
男 1,888人 (ー9)
女 2,070人 (ー2)

◇世帯数 1,342世帯 (ー2)

◇3月中の移動

出生 0人 死亡 8人
転入 14人 転出 17人

※山添村に住所がある人の動きを表しています